



## NEWS RELEASE

株式会社 すららネット  
2021年5月31日

### すららネット 中高管理職・教職員向け無料オンラインセミナーを開催 学校現場のDX(デジタルトランスフォーメーション)がテーマ

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：湯野川孝彦）は、高等学校・中学校の管理職・教職員向け無料セミナー「学校現場のデジタルトランスフォーメーション」を6月17日（木）にオンライン開催することとなりました。

# 学校現場のデジタルトランスフォーメーション

開催日程  
**6/17(木)**  
15:30-17:00

様々な業界・業種で叫ばれるデジタルトランスフォーメーション(DX)。学校現場においても、様々な場面でDXの推進が求められています。しかしながら、「実態がつかみにくい」、「デジタル化とは違う?」、「何から手をつけていいのかわからない」という声や疑問をお聞きます。本セミナーでは学校におけるDXとそれに伴う「現場の変化」について、事例を踏まえながらご紹介します。

**参加無料**  
**オンライン開催**

<b>特別講演①</b> 2020年度 「未来の教室」採択 長野県軽井沢高等学校 校長 下井一志氏		<b>特別講演②</b> 東海大学付属相模高等学校中等部 ICT教育推進委員長 犬塚孝一氏	
---	---	--	---

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念とし、AI×アダプティブ教材「すらら」を、国内では約2,200校の塾、学校等に提供しています。全国の有名私立中高、大手塾での活用が広がる一方で、発達障がいや学習障がい、不登校、経済的困窮世帯を含む生徒に学習の機会を提供するなど日本の教育課題の解決を図ることで成長を続け代表的なEdTechスタートアップ企業として2017年に東証マザーズに上場しました。

AI×アダプティブラーニング教材「すらら」は小学校から高校までの国語、算数／数学、英語、理科、社会5教科の学習を、先生役のアニメーションキャラクターと一緒に、一人一人の理解度に合わせて進めることができるアダプティブなe-ラーニング教材です。レクチャー機能、ドリル機能、テスト機能により、一人一人の習熟度に応じて理解→定着→活



## NEWS RELEASE

---

用のサイクルを繰り返し、学習内容の定着をワンストップで実現できます。初めて学習する分野でも一人で学習を進めることができる特長を生かし、小・中・高校、学習塾をはじめ、放課後等デイサービス等においても活用が広がっています。

このたびのセミナーは、学校現場において DX の推進が求められる中、現場から寄せられる「実態がつかみにくい」「デジタル化とは違うの?」「何から手をつけていいのか分からない」といった声を受け、開催するものです。本セミナーでは特に、学校における DX とそれに伴う”現場の変化”に注目し、経済産業省「未来の教室」実証事業実施校である軽井沢高等学校の下井校長、2017 年度から ICT 導入を推進し、全校 2,200 名が iPad を活用している東海大学附属相模高等学校中等部の犬塚教諭を講師にお迎えし、事例を交え紹介します。セミナーはオンライン会議システムを活用したオンラインセミナーの形式で実施します。

詳細・申込はこちらをご確認ください。

[https://surala.jp/school/seminar/0617\\_online\\_02.html](https://surala.jp/school/seminar/0617_online_02.html)

すららネットは今後も、新しい学習体験を届ける事業活動を通じ、学習者に「大人になっても役に立つ真の学力」と「努力をすれば結果が出るという自信」を提供していきます。



## NEWS RELEASE

### ■セミナー概要

学校現場の DX（デジタルトランスフォーメーション）

日時：2021年6月17日（木）15：30～17：00

対象：国公立高等学校・中学校の管理職ならびに教職員

開催方法：オンライン(Zoom)にて実施

講座内容（予定）：

### ■そもそも DX って何をすればいいの？

学校現場の DX とその取り組み

DX = “デジタル化” ではない！目的から考える DX

DX を始めるにあたって、まずはじめに検討することは？

「検討したもの・・・」DX ネガティブ派の巻き込み方

DX を取り入れたことによる学校現場（先生・生徒）の変化

取り組みと改善の PDCA サイクルにどう取り組むべきか

### ■ゲスト講話 ～学校現場で DX を実現！

それぞれが取り組んだ DX の実践について

長野県軽井沢高等学校 校長 下井 一志 氏

2020年度の経済産業省「未来の教室」実証事業の対象校。ICTがない環境から「Chromebook」、「G Suite(当時)」、「すらら」等の導入をすすめ、「個別最適な学習」による「学習効率の向上」、「個別最適な学びを許容する成績評価制度」の設計・導入を推進しています。



東海大学附属相模高等学校中等部 ICT教育推進委員長 犬塚 孝一 氏

本校は2017年度の中等部1年生からBYODによるICT教育の推進をしております。導入5年目を迎え、中高全生徒と教員で約2200名がiPadを片手に、毎日の学習が展開されています。「アクティブ」と「アダプティブ」の学び最適化を目指し、日々取り組んでいます。Withコロナでの新しい学校生活様式に対応したICT教育を実現します。

